

# 掲示板

研究会・研修会等への報告者・講師の派遣  
(平成25年7月～9月)

○「JICAインド国別研修『参加型流域管理』コース」

主催 JICA

とき 平成25年7月30日

テーマ 日本の農業組織（機能・特徴）

講演 中村 正士

（当研究所・特別研究員）

○「北海道農業研究センター研究員研修会」

主催 北海道農業研究センター稲作部

とき 平成25年8月2日

テーマ 北海道農業発達史を刊行して

行して

講演 太田原 高昭

（当研究所・顧問）

○「環境教育市民講座」

主催 北海道環境カウンセ

ラー協会

とき 平成25年8月17日

テーマ 北海道の食の安全・安心―その現状と課題―

講演 太田原 高昭

（当研究所・顧問）

○「JICA農民参加による農業農村開発（ベトナムコース）」

主催 JICA・滝川国際交流協会

とき 平成25年8月21日

テーマ 北海道における農協の役割

役割

講演 中村 正士

（当研究所・特別研究員）

## 平成25年度 農業総合研修会開催のお知らせ

講演テーマ:「ロシア極東地域の農業と食生活(仮題)」

講師: 札幌学院大学 社会情報学部  
教授 小内 純子氏

開催日時: 平成25年12月3日(火) 15時～17時

開催場所: 北農ビル19階 第2～4会議室  
札幌市中央区北4条西1丁目

問い合わせ: 一般社団法人 北海道地域農業研究所  
電話: 011-859-6010  
ファックス: 011-852-6663  
E-Mail: office47@chiikinouken.or.jp 担当: 小林

# ロシア語でお困りでは？ 通訳・翻訳業務を承ります



- ◎観光、商談などでロシア語通訳が必要な時は、遠慮なくご相談ください。  
経験豊かなスタッフが、コミュニケーションを格段にアップさせます。
- ◎ロシア語の申請書類やカタログなど、資料の翻訳もお引き受けします。
- ◎農業、農産物輸出に関係する各種調査・研究業務も承っております。  
当研究所の専門スタッフが、ご要望にしっかりと応えます。

詳しくは下記にお問い合わせください。

一般社団法人 **北海道地域農業研究所**

<http://www.chiikinouken.or.jp>

Eメール: [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)

〒067-0041 札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号

TEL (011) 859-6010

FAX (011) 852-6663



## DATA FILE

### 関連事項/DATA

ホクト ヤンマー株式会社  
〒067-0051  
江別市工業町10番地6  
☎ 011(381)2310  
FAX 011(381)2330

平取町農業支援センター  
〒055-0107  
沙流郡平取町本町30番地7  
☎ 01457(2)2383  
FAX 01457(2)4245

平取町農業協同組合  
〒055-0193  
沙流郡平取町本町40番地1  
☎ 01457(2)2211  
FAX 01457(2)4545

一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒062-0041  
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号  
☎ 011(859)6010  
FAX 011(852)6663  
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

## ◆ 編集後記 ◆

●二〇二〇年夏季オリンピック  
・パラリンピック東京開催が決  
定した。三兆円以上の経済効果  
があるといわれている。オリ  
ンピックは歴史の転換点になる巨  
大イベントだ。

開幕までの七年間は震災復興  
と原子力災害の克服を世界に知  
らせる期間だ。

●今年は関東大震災から九〇年  
の年に当たる。東日本大震災か  
ら二年半以上経過しているが、  
避難生活を続けている被災者は  
いまだに三〇〇万人近い。またこ

の夏の豪雨、台風被害も含め  
「災害列島」の日本は毎年同じ  
ことが起こるのだろうか。現代  
に生きる教訓は「忘れない」こ  
となのかもしれない。準備万端  
憂いなし。

●TPP交渉のブルネイ合内  
容やその後の情報も国益の中身  
や主張内容などまったく不明で  
ある。

なし崩し的に年末に合意させ  
られ、外圧を利用した規制緩和  
になるのだろうか。

●春先の低温、多雨で今年の収  
穫に不安が持たれたが6月以降  
天候が回復し、全道では主要品  
目の水稲、馬鈴薯、てん菜など

は平年並みで評価されている。

しかし、オホーツク管内の遅れ  
が目立ち秋の好天に期待をする。

●北海道や大手銀行は道内企業  
が持つ寒冷地住宅建設技術や農  
業技術を通じ極東ロシアとの協  
力関係を進めている。

当研究所も需要の高まる極東  
との関係を先取りし、ロシア貿  
易などに詳しい富澤 哲氏を採  
用した。調査・研究は無論、翻  
訳、通訳など多岐にわたる業務  
を担当する。

●二六年度農業関連予算につい  
て中央会より寄稿いただいた。  
農林水産関係予算総額は前年度  
当初より一三・六%増加し二兆  
六〇九三億円を要求している。

「農業・農村所得倍増目標一  
〇カ年戦略」の実現元年とする  
ためだ。

(小林 久人)